



# メディカルネットワーク

発行 東京女子医科大学東医療センター 〒116-8567 東京都荒川区西尾久 2-1-10  
 電話03-3810-1111 FAX03-3894-0282 <http://www.twmu.ac.jp/DNH/index.html>

2010

No.12

November

## 臨床教授についてのご案内



東京女子医科大学  
東医療センター病院長  
大塚 邦 明

臨床教授 (Clinical Professor) という新しい職制が設けられました。(1)特に優れた診療実績を有する教員、あるいは(2)特別な診療能力・技能を有する教員に附与される、栄誉ある教授職です。学部職制と同様に、研究・教育・診療・社会的貢献という4つの分野で優れた業績をあげていることが必要条件です。そして、臨床診療・

社会的貢献に重点をおいて再評価され、医学部長を中心とする厳しい審査に合格した教員のみが任命されます。臨床に特化したこの新しい職制は、臨床にきわめて優れた能力を有することの勲章のようなもので、5年ごとに再審査されます。

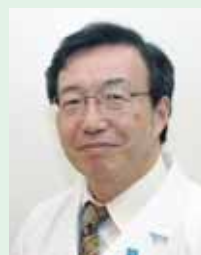
このたび呼吸器外科学の前昌宏先生、周産期医学の長谷川久弥先生、泌尿器科学の中澤速和先生が臨床教授の栄誉をお受けになりました。まことにめでたうございます。東医療センターから3名もの臨床教授が任命されましたことを、病院長として大変誇りに思います。

## 臨床教授就任のご挨拶



心臓血管外科・呼吸器外科  
臨床教授 前 昌 宏

呼吸器外科領域は、肺癌、転移性肺腫瘍、気腫性疾患、縦隔腫瘍、胸郭変形、膿胸ほか、多岐にわたりますが、胸腔鏡の導入により、ますます外科治療のニーズが増えています。埼玉南部、城東、城北地区を医療圏とし、この地域の呼吸器疾患基幹施設として、質の高い医療を提供できるよう最善を尽くす所存です。さらに教育・臨床研究にも力を注いでいきますのでよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科  
臨床教授 中 澤 速 和

このたび泌尿器科臨床教授に就任させていただきました。私の専門は腎臓がん、膀胱がん、前立腺がんなど腎尿路悪性腫瘍の治療で、とくに腎臓の手術に関して腎温存手術や腹腔鏡手術を数多く行っております。2004年東医療センター赴任後は、専門領域のみならず城東地区の拠点病院として良質な泌尿器科医療の提供に努めております。今後ともご支援よろしくお願いたします。



周産期新生児診療部  
臨床教授 長谷川 久 弥

このたび、臨床教授に就任させていただきました。東医療センター周産期新生児診療部部長として着任以来、多くの方々のご協力をいただき、NICUとしての機能を充実させてきました。診断、治療の困難な新生児・小児呼吸器疾患を中心に、全国からの診療依頼も多く、NICUとしてだけでなく、小児呼吸器に専門性を持った施設としても認知されています。今後も地域の需要に応え、更なる発展をするために尽力していきたいと考えています。皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



北アルプス穂高連峰 表銀座西岳より 医療情報映像室 住友撮影

## 教授就任のご挨拶



病院病理科

教授 藤 林 真理子

平成21年4月に病院病理科部長に就任し、平成22年7月に教授を拝命いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任者が本誌2008年第8号で紹介いたしましたように、当科は検体数が多く大変activeに機能しております。この間にもMIB-1 indexなどの計測ソフトを用いた定量化が可能となりました。さらに当面は遺伝子発現プロファイルに基づく腫瘍分類の形態学への応用などを目指しております。

このような先端的な医療に関わっている一方で、病理解剖では家族と同居しながら半ば放置されていたのではないかと考えられる症例（どこも悪いところがないので医者に掛かったことがないと家人は語っている

が、上肢に麻痺による変形がある。家人の話では普通に歩いて生活していたということであるが褥瘡があった、など）に遭遇して、厳しい社会の現実を突きつけられることが時々あります。

また、近年では滅多に目にすることがないほどの、広範囲に進行した癌の手術標本も当科にとっては珍しくありません。これは地域の特徴の表れではないかと考えています。

患者さんに直接接する機会のない病理医ですが、剖検や病理の検体を通じて、地域医療に携わる関係者の皆様のご苦勞を多少なりとも感じることができます。

オープンのCPCや研究会などで皆様にお目に掛かることを楽しみにしております。病理外来はまだ開設しておりませんが、病理診断などに関するご相談は随時お受けいたします。ご気軽にお声をかけて下さいますよう、お願いいたします。

## 新部長代行のご挨拶



形成外科

准教授 井 砂 司

平成22年8月1日付で東京女子医科大学東医療センター形成外科部長代行を拝命いたしましたので御挨拶申し上げます。

浜松医科大学を卒業後、直ちに東京女子医科大学形成外科に入局いたしました。

入局以来、平山峻元教授や野崎幹弘前教授、若松信吾元教授など本当にいろいろな大学出身の先輩方にご指導を受け育てていただきました。今後はこれらの経験を生かし東医療センター、日暮里クリニック4F形成外科外来、日暮里クリニック5F美容医療部の三部門をまとめ、発展させていきたいと思っております。

専門分野としましては、陰圧創傷閉鎖療法を始め血管再生療法などによる創傷治癒、全身管理から癬痕拘縮による醜形の改善まで行う熱傷のトータルケア、多発顔面骨骨折や頭蓋変形を含む顔面外傷、マイクロ技術を駆使した遊離皮弁などによる癌切除後の再建などがあります。しかしながら、形成外科が取り扱う疾患は他にもあり、口唇口蓋裂や多合指症などの先天異常、手足の外傷、陥入爪、下肢静脈瘤、糖尿病性壊疽、皮膚難治性潰瘍、陥没乳頭、眼瞼下垂、皮膚皮下腫瘍、母斑、血管腫など多岐にわたるため、これらの疾患に「オール・ラウンド」に対応できることも得意

分野としております。また、形成外科は他科との協力関係が重要であることも十分に認識しておりますので、気軽にご相談頂きチーム医療を盛んにしていきたいと考えております。

東医療センター形成外科の特徴は、美容医療部が形成外科の別部門として存在していることだと思います。女性医師を育てる東京女子医科大学だからこそ美容医療の研究に大学レベルで取り組むべきであるというのが私の持論であり、現在「美容医療」はいわゆる「美容整形」ではなく、「アンチエイジング」を外面からサポートする医療の一環として改めて見直されてきております。美容医療部を担当する本田准教授は大学の後輩でもありますので、「アンチエイジング」を中心にエビデンスに裏打ちされた信頼性の高い治療を目指していきたいと思っております。

今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ニュージーランド テカポ湖 放射線科 木村撮影

## 「これからの心臓血管診療」：心臓血管診療部のご紹介



内科

准教授 布田 伸一

今後10年間の医療の特徴を敢えて述べさせていただきますと、①医学面では、遺伝子治療等の高度先進医療、②社会面では、高齢化社会に対する医療、そして③現場においては（時間との戦いでもある）救急医療であると思われます。

ここ東医療センターの位置する荒川区は都内でも高齢者比率は高く、近隣の足立区、北区におきましても数年後には本格的な高齢者時代が到来し、救急医療を要する心筋梗塞や心不全を代表とする心臓病は増加の一途を辿ることが間違いありません。このような社会的背景を鑑みまして、当センターでは2009年2月に「心

臓血管診療部」を立ち上げ、心臓血管診療に対して迅速かつ集中的に対応してまいりました。

具体的には、①心臓血管診療部外来を毎日実施、②24時間体制で循環器緊急対応医師をスタンバイ、③心臓血管診療部専用病床をICU内に常設、④準CCU的病床を4床新設、その他3床常設、⑤カテーテルによる冠動脈疾患治療に加え、先進的不整脈治療、重症心不全治療も実施し、⑥病診連携における慢性期クリニカルパスを実施しております。

今後、この分野は高度先進医療とも直結して、あらゆる年齢域を通して益々ニーズが要求されてくるころです。

私共スタッフ一同、モチベーションをさらに向上させて参りますので、いつでもお気軽にお問い合わせいただければ幸いです。宜しくお願いします。

## 婦人科腫瘍外来のご紹介



産婦人科

講師 長野 浩明

当産婦人科の腫瘍外来は水、金曜日の午後に週二日の枠で開いておりますが、水曜日は高木教授担当で、私の担当は金曜日の午後2時からとなっております。腫瘍外来では子宮がん、卵巣がんなどの婦人科悪性腫瘍患者さんを対象に主に治療終了後の経過を観させていただいております。そこでは、再発の有無をチェックすると共に、治療後の後遺症についてもフォローしております。また、同時期に治療された患者さん同士が顔を合わされることも多い待合室は、ちょっとした情報交換の場ともなっているようです。

ところで腫瘍外来では、再発の早期発見のために腫瘍マーカー値の計測は必要不可欠なものと思っております。

ますが、昨年の米国臨床腫瘍学会（ASCO）で発表された再発卵巣癌に関する臨床試験の報告では、腫瘍マーカーの増加により早期に治療を開始した再発群と、症状発現や画像診断で確認後に治療開始した再発群では予後に差がみられなかったということでした。がっかりさせられる内容でありましたが、逆に患者さんにとっては多少のマーカーの変動で一喜一憂するのはよしまししょう、とも言えることになるのかなと考えております。

治療後の後遺症で最も多く観られるのが婦人科の場合、下肢のリンパ浮腫です。生活上の予防・緩和対策の指導や必要に応じて近隣の治療施設のご紹介などもしております。

今後、益々多くの方が腫瘍外来に通院されることと思われまますので、より充実した対応ができるよう、心掛けていくつもりであります。

## ストーマ看護外来のご案内



看護師

石井 佳子

当院では看護外来として、皮膚・排泄ケア認定看護師がストーマ外来を行なっています。ストーマ（人工肛門・人工膀胱）を保有している方や、造設予定の方を対象に、ストーマ周囲の皮膚トラブル、装具の選定での情報提供や困り・悩み、日常生活のアドバイスも含め相談に応じます。

- 日 時：毎週水曜日 午後2時から4時（予約制です）
- 場 所：外科外来
- 連絡先：03-3810-1112（外科外来 内線 2161）
- 担 当：皮膚・排泄ケア認定看護師 石井佳子

★他院からの場合は紹介状をお願い致します。

まずは、お電話下さい。

## 日暮里クリニックのご案内

## ウエル・エイジングドック、もの忘れ認知機能検査、高齢者外来のご紹介



准教授 山中 崇

日暮里クリニック内科におきましては、高齢者のトータルケアを目指し、疾患にとどまらず生活機能にも焦点を当てた、健診・診療プログラムをご用意しています。

「ウエル・エイジングドック」(自費診療)では、気づいていない病気を発見、あるいは病気を発症する前、すなわち未病の段階から心身の状態をとらえ、健やかな老いを目指すための支援を行っています。日暮里クリニックでの日帰り外来ドックです。栄養、日常生活機能、骨、ホルモン、血管の硬さ、認知機能、抑うつ、自律神経機能などの状態を総合的に評価し、これからの生活、治療について提案します。

「もの忘れ認知機能検査」(自費診療)では、認知機能障害があるかどうか、あるとしたらどのような障害なのかを的確に診断するため、臨床心理士が神経心理検査を実施し、後日、医師から結果を説明しています。

簡易認知機能検査だけでは早期の認知症を捉えることが難しい場合があります。もの忘れを心配されている方がいらっしゃいましたら、「もの忘れ認知機能検査」の受診をお勧めいただけましたら幸いです。なお、原因診断のため、もの忘れ外来において、頭部MRI検査、採血検査などを実施し、総合的に診断しています。

「高齢者外来」(保険診療)では、高齢者総合機能評価法をふまえ、高齢者に特有な認知機能障害(もの忘れ外来)、生活機能障害(総合機能評価外来)を中心に、各専門診療科と連携しながら高齢者が抱える様々な健康課題に対応しています。なお、通院が困難な方には、東医療センター在宅医療部から訪問診療を行い、継続した医療を提供することができる場合もあります。

このように、高齢者の予防医学から治療、ケアまで総合的に対応することを目指しています。それぞれパンフレットをご用意しておりますのでお問い合わせください。(予約専用電話 03-3805-7772) 加齢に伴う心身の衰えが気になる方、病気のため生活機能に不安を抱えている方のご紹介をお待ちしております。

**□JR日暮里駅からの道順**

日暮里駅北改札を出てから、東口(右方向)に出てください。東口を出たら左方向に携帯電話販売店がありますので左脇の入口よりお入りいただき、エレベーターを利用して4階までお越しください。

**□日暮里、舎人ライナーからの道順**

JR日暮里駅方向の改札を出てからすぐ右側に階段とエレベーターがありますので2階まで降りてください。2階に降りましたら、左側にステーションポートタワー口の連絡橋があります。渡っていただくとビルの3階に出ますので階段、エレベーターをご利用いただき4階にお越しください。

**《日暮里クリニックは予約制です》**

- **予約電話受付時間**
  - 平日 8:20~17:00
  - 土曜日 8:20~12:30
- **休診日**
  - 日曜日・第3土曜日・祭日・振替休日、
  - 本学創立記念日12月5日(休日の場合は翌日)
  - 年末年始(12月30日~1月4日)

※予約専用電話 **03-3805-7772**

※5階美容医療専用 **03-3805-7773**

※予約専用電話にお願い致します

〒116-0013  
東京都荒川区西日暮里2-20-1  
ステーションポートタワー4階5階  
☎03-3805-7771(代)

## 地域連携室からのお知らせ

## 第17回「城東地区医療連携フォーラム」

日時：平成23年2月12日(土) 午後3時より(予定)

場所：ホテルラングウッド

東京都荒川区東日暮里5-50-5

電話 03-3803-1234

お問い合わせ先 地域連携室 内線 6151 又は  
業務管理課 内線 4433

## 編集後記

記録的な猛暑からやっと解放され、紅葉の便りが届く好季節となりました。次の便りはインフルエンザ、とならない事を祈ります。今号よりメディカルネットワークのデザインを一新いたしました。今後も充実した内容をお届けしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

次号は平成23年5月を予定しております。